

記入例

東京都GAP(青果物)チェックシート

複数品目での申請の場合、「評価」については農場の評価を記入し、品目間で取組が異なるものについては「具体的な取り組み状況」に詳細を記入すること。
 例) 農薬に関する項目で、申請品目Aで使用しているが、申請品目Bで使用していない場合。(No52)

区分	生産工程段階	分野	No.	管理点	管理基準	重要度	評価 (○、×、－)	具体的な取り組み状況(評価理由を具体的に記入すること)	差分	ガイドライン対応番号	平成30年4月1日 施行の管理基準書との関連
経営体制全体	全般	農場経営管理	1	ほ場の所在地と面積、栽培施設、かん水施設等を記載した台帳および図面を作成し、保存している。	下記の適用範囲に関する最新情報を記録している。 ① 農場(農場名、所在地、連絡先)	必須	○	ほ場台帳に記入している。ほ場台帳は年に1回見直しをしており、直近では令和5年3月30日に見直した。	○	1	4(野菜、果樹)を 変更
					② 商品(農産物、品目(栽培中または栽培予定))	必須	○	ほ場台帳に記入している。ほ場台帳は年に1回見直しをしており、直近では令和5年3月30日に見直した。	○		
					③ ほ場(ほ場名等、所在地、面積)	必須	○	ほ場台帳に記入している。ほ場台帳は年に1回見直しをしており、直近では令和5年3月30日に見直した。	○		
					④ 倉庫(所在地、保管物(農薬・肥料等の資材、燃料、機械等))	必須	○	ほ場台帳に記入している。ほ場台帳は年に1回見直しをしており、直近では令和5年3月30日に見直した。	○		
					⑤ 農産物取扱施設(所在地、取扱品目)	必須	○	ほ場台帳に記入している。ほ場台帳は年に1回見直しをしており、直近では令和5年3月30日に見直した。	○		
					⑥ 外部委託先(名称、委託工程、所在地、連絡先)	必須	－	販売先は庭先直売が主で、出荷する場合も自分で配送しているため、外部委託先はない。	○		
					⑦ 上記③～⑤の図面	必須	○	ほ場図を作成している。ほ場図は年に1回見直しをしており、直近では令和5年3月30日に見直した。	○		
			2	農場の管理体制ができています。	①農場責任者(経営主)、栽培責任者(農作業、安全・保守点検、農薬適正利用責任者)、資材責任者(資材、農薬、肥料、燃料等管理)、品質管理責任者(出荷管理、クレーム対応等)を配置している。	必須	○	責任者一覧表を作成している。今年度から、資材責任者に○○を指名した。	2	2(野菜、果樹)を 変更	
					②各責任者は、役割について理解している。	必須	○	年に1回話し合いの機会を設けて、役割について確認している。直近では令和5年3月28日に実施した。			
			3	「食べ物」(安全な食料)を生産しているという基本的な姿勢を持っている。	①農場の理念を定めて周知している。	必須	○	農場の理念を定めて、作業場に掲示している。	3	1(野菜、果樹)を 変更	
					②理念を実現するための行動指針を定めて周知している。なお、次の5分野(食品安全、環境保全、労働安全、人権保護、農場経営管理)の観点を含むものとする。	必須	○	行動指針を定めて、作業場に掲示している。			
			4	自己点検を実施し、改善に向けた取組をしている。	農場責任者が農場のルールを決定した上で以下の取組を実施している。 ①自己点検を年1回以上実施したことが記録でわかる。	必須	○	このチェックリストを使用し、令和5年3月31日に自己点検を実施した。	4	6(野菜、果樹)を 変更	
②自己点検の結果、不適合だった項目を改善している。また、そのことが記録でわかる。	必須	○			本チェックリスト5-1について、知識が不足していたため、資料を準備し学習した。						
生産体制全体	苗づくり・定植	農場経営管理	5-1	新しい技術や品種の開発時に、必要となる知的財産を保護する手段を知っている。	権利化・秘匿・公開の3手段について理解し、該当する技術や品種があれば、特許・品種登録等をしている。	必須	×	権利化、秘匿、公開のうち、公開について理解が不足していたため、資料を準備し学習した。なお、該当する知的財産はない。	5	3(野菜、果樹) 20(野菜、果樹)	
			5-2	品種登録制度を守っている。	品種登録制度を守っており、許諾の必要な品種の種苗については、許諾を得て栽培している。	必須	○	品種登録制度を遵守しており、許諾が必要な品種は栽培していない。			
	全般・計画	農場経営管理	6	栽培と出荷の計画を立て、実績を評価し、必要に応じて次の計画に反映している。	①栽培と出荷の計画を立てている。 ・作業内容及び実施時期 ・品目ごとの収穫見込量 ・生産性等に関する目標	必須	○	毎年、栽培前に栽培と出荷の計画を立てており、直近では令和5年2月10日に作成した。	6	5(野菜、果樹)を 変更	
					②上記①に基づいた農作業を記録している。	必須	○	日誌に一日の作業を記録している。			
					③計画と実績を比較し、次の計画立案に役立てている。	必須	○	前作では、収量が想定よりも多かったため、今作は収量見込量を増やした。			
全般	農場経営管理	7	農場管理の記録を保管している。	都GAPが求める記録を1～3年保管している。	必須	○	記録類については、年度ごとファイルにつづり、3年以上保管している。	7	新規		
計画	食品安全	52	使用する予定の農薬の情報をまとめ、使用基準違反を防ぐため、農薬使用計画を策定している。	①使用する農薬及びその使用基準等について把握し、品目ごとに使用する農薬使用計画を作成している。 ②登録農薬及び特定農薬だけを使用し、農薬登録がないのに、その用途に直接的な防除効果をうたった資材を使用していない。	必須	○	栽培前に品目ごとの農薬使用計画を作成している。 (ただし、ニンジンには農薬を使用していないため、評価対象外)	52	26(野菜) 24(果樹)を 変更と 27(野菜) 25(果樹)		
				必須	○	登録農薬のみを使用している。					